

STAGE+を楽しむ(290)(HP 収載)  
—ティーラのドヴォルザークの《新世界より》—

1. 始めに

前報(289)に引き続き、STAGE+のティーラが指揮するドヴォルザークの《新世界より》の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のティーラが指揮するドヴォルザークの《新世界より》の演奏を選びました。

グラジニーテ=ティーラが指揮するドヴォルザークの《新世界より》

ライブ配信

グシュタード音楽祭管弦楽団

ユーディ・メニューインによって創設され、毎夏スイスで行われるグシュタード音楽祭。今年は、ミルガ・グラジニーテ=ティーラが最も有名な交響曲の一つ、ドヴォルザークの《新世界より》を指揮します。ドヴォルザークは 1892 年、ニューヨーク・ナショナル音楽院院長として招かれ渡米し、3 年間アメリカに滞在しました。この作品では、彼の新天地での期待と離れた故郷への深い懐旧の念が交錯しています。選りすぐりの奏者が集うグシュタード音楽祭管弦楽団とミルガのフレッシュな才能がこの感動的な名作でどのような化学反応を生むのか、ぜひご期待ください。

演奏:

グシュタード音楽祭管弦楽団

指揮:

ミルガ・グラジニーテ=ティーラ

曲目

アントニン・ドヴォルザーク 交響曲第 9 番ホ短調 op. 95 《新世界より》



### 3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への **Crystal EpY-G** の接続を継続し、PC の仮想アース **Crystal E Jtune** に **Crystal E** を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に **OPT ISO BOX** を適用し、**OPT ISO BOX** の AC アダプターの DC ケーブルに **FX Audio** の **Petit Susie Solid State** を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

さらに今回から、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続には **OPT ISO BOX** に代って適用した **LAN iPurifier Pro** の電源を **iPowe2** に交換しています。

今回は、PC の受信から **GPS-777** クロック入力 **SWD-DA20** に送り出しています。

グシュタード音楽祭は、グシュタードメニューイン音楽祭とも称され、ユーディ・メニューインが 1956 年スイスの保養地グシュタートの山荘で始めた音楽祭で、若いアーティストのための音楽アカデミーが創設され、1999 年のメニューインの死後も音楽祭は引き継がれて、2010 年にフェスティバル・オーケストラが創設されたという経緯があります。

ドヴォルザークの交響曲第 9 番《新世界より》は、ケルテス始め、かずかずの名演奏がある聴きなれた曲です。

今回の演奏会では、小柄なティーラが、しなやかな手振りで切れのよい指揮です。

グシュタード音楽祭管弦楽団は、初めて聴きますが、若い団員が潑潑と演奏しています。第 2 楽章もしっとりとした抒情的な表情を出しており、第 4 楽章も壮大に盛り上げていきます。



#### 4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用した結果、ティーラの切れのよい指揮のもと、若い団員たちの音楽祭オーケストラの潑瀾とした演奏が聴けました。

以上